

令和2年度 第1回史跡小田原城跡調査・整備委員会会議録

日 時：令和2年7月16日（木）午後1時30分～午後2時40分
会 場：小田原市生涯学習センターけやき 大会議室
出席者：小和田委員長、伊藤副委員長、小笠原委員、浅倉委員、小沢委員、
佐藤委員
オブザーバー：文化庁文化財第二課史跡部門 浅野文化財調査官
神奈川県教育委員会文化遺産課 谷口グループリーダー、有吉主任主事
コンサルタント：（株）文化財保存計画協会 難波研究員、山田研究員
事務局：栢沼教育長、石川文化部長、古矢文化部副部長、高橋文化財課長、
内田史跡整備担当課長、田村副課長（文化財係長）、大島主査、鈴木主査、
土屋主査、佐野主任
経済部小田原城総合管理事務所 和田所長、佐々木副所長、岡副所長、
諏訪間主査
建設部みどり公園課 山崎公園係長

【開会あいさつ】

【教育長あいさつ】

【委員長あいさつ】

【資料の確認】

【会議の公開について】

議事

（1）報告事項 ア 史跡小田原城跡保存活用計画について

事務局：史跡小田原城跡保存活用計画についてのパブリックコメントを、9月15日から10月14日に実施予定である。資料として史跡小田原城跡保存活用計画の概要版を使用する予定であるが、本日午前で開催した史跡小田原城跡保存活用計画策定部会において指摘事項があり、その修正に時間を要するため、予定が後ろ倒しになる可能性がある。ただし、策定事業は今年度内に完了したいと考えている。

委員長：午前の史跡小田原城跡保存活用計画策定部会の報告はないか。

事務局：史跡小田原城跡保存活用計画の概要版の各項目に沿って説明を行った。今回初めて概要版をお示ししたところ、様々なご意見やご指摘をいただいた。パブリックコメントまでタイトなスケジュールであるが、修正して再度お示ししたい。

委員長：では本日はパブリックコメントの予定に遅れがでる可能性があることを認めるかという議論で良いか。

事務局：はい、その可能性があるということです。

委員長：各委員意見があれば発言願いたい。

委員長：なければ、この報告事項は終了とする。

イ 御用米曲輪の修景整備について

委員長：次に、報告事項イ御用米曲輪の修景整備について、事務局の説明を求める。

事務局：資料２－１の令和元年度・２年度御用米曲輪修景整備工事工程表をご覧ください。令和元年度工事については、現在シラカシの植栽の工程に入っている、長雨の影響もあるが現時点の工期は７月末の予定である。

令和２年度工事については現在入札準備中であり、１０月初旬に契約予定で進めている。工事内容は前回委員会でご報告した通りで、集水桝・暗渠管・給水管敷設、盛土、階段設置、地被植物植付、シラカシ植栽、駒寄・手摺設置となる。冬へ向けての工事となるので、前回委員会でご指摘があった植栽に適した時期について、注意しながら適切に判断していきたい。

資料２－２の写真資料により令和元年度工事の様子を報告。

委員長：ただいまの説明に関して、ご質問・ご意見等あれば伺う。

委員：北東土塁西半がひととおり整備された段階だが、利用可能の見通しはどうか。まだ遊歩道が整備されていないが、見学できるようになるのはいつか。

事務局：今年度中に盛土が完成し、来年度には土塁上に蔵跡の表示が完成する予定である。

土塁へのアプローチ設置等の平場の工事は、少なくとも再来年度以降となる。予算や現地の状況により適切なタイミングを計っていきたい。

委員：土塁の上の植栽はどうなるのか。

事務局：土塁上にはウッドチップを敷き、蔵跡の外周は石で囲って人が入れるように整える。

土塁斜面にはコグマザサ、土塁上には遮蔽のためシラカシを植える。

委員長：それでは、この件に関しては工程表に従って工事を進めていただきたい。

ウ 史跡石垣山石垣保全対策工事について

委員長：次に、報告事項ウ史跡石垣山石垣保全対策工事について、事務局の説明を求める。

事務局：資料３－１をご覧ください。対策箇所は井戸曲輪最深部へ降りる階段脇の石垣であり、飛び出た石とはらんだ部分を支えるワイヤーネット被覆工を実施する。次に資料３－２をご覧ください。前回の委員会ではワイヤーを２本使用する工法を示したが、その後、設計業者の強度計算が進み１本で足りることが判明した。強度が保てるのであれば、アンカーの数が少ない方が遺跡への影響も少なくでき、景観保護にもなるため、今回示した工法で行いたい。

また、前々回現地視察の際に、ショートアンカーを打つことでかえって石垣を不安定にさせないようにとのご助言を受けた。注意しながら慎重に作業を行いたい。

工事の開始時期は１０月後半の一夜城祭り後を予定している。

次に資料3-3をご覧ください。この8枚の資料は、これまで複数回に分けて実施してきた井戸曲輪の3D測量が完結したため、その測量成果を合成して出力したものである。パソコンの画面上で角度を変えて見ることや好きな場所で断面を見ることもできる。今後、他の曲輪でも測量を進め、保存や活用の検討に必要な基礎データの蓄積を進めていきたい。

委員長：ただいまの説明に関して、ご質問・ご意見等あれば伺う。

委員：保全対策はこの計画の通り進めて欲しい。本来石垣は積み直したいくらいだ。精密な測量図は素晴らしい。図の著作権は業者に帰属するのか。第三者利用は可能か。

事務局：測量成果は小田原市に帰属するので、今後の活用など小田原市の判断で使うことができる。

委員：小田原市に使用許可をとるということで良いか。

事務局：そのとおりである。

オブザーバー：石垣の3Dデータをとって気付いたこと等所見があれば教えてほしい。

事務局：複数回に分けて測量を行ってきたことで、石垣の動きがあるのかないのか観測することができた。その結果、7年間では多くても2mm程度とほとんど動いていないことが分かった。

資料3-3の下の写真をご覧ください。井戸曲輪の角の外側が大きく崩落しており、内側の石積みにも影響すると考えている。元々危険な箇所として認識していたが、来訪者に直接影響がある内側だけでなく、外側にもこのような箇所があることを測量によって改めて確認できた。

委員：測量データについて、コンピューター上で石垣の危険度を割り出すなど何か活用方法はあるか。

事務局：石垣のふくらみや傾斜が詳細に分かるので、危険と判断される箇所に対して具体的な手当てを検討するにあたり、この詳細データは大変役立つものである。今後も石垣山の保全対策の基礎データとして活用していきたい。

委員長：それでは、この件に関しては審議も尽きたようなので終了とする。

エ 小田原城址公園の整備・植栽管理等について

委員長：次に、報告事項エ小田原城址公園の整備・植栽管理等について、事務局の説明を求める。

事務局：資料4-1、4-2をご覧ください。工事内容は前回委員会で説明したものと変わりはない。令和元年度の工事は予定通り終了した。令和2年度の工事は現状変更許可など必要な手続きを含め、今のところ問題なく順次進んでいる。

次に資料4-3城址公園内樹木整理予定図、4-4写真をご覧ください。図の右下赤で囲った案内所横マツ群は伐採又は剪定を計画している。図の中央赤で囲った歴史見聞館横マツ群も伐採・剪定を計画している。図の左上赤丸のエノキとサ

クラは枯れているので伐採する。図左の青丸のサクラは7月4日の強風で倒れて通路をふさいだため緊急に伐採処理をした。このサクラの少し上の緑丸のサクラ2本は法面の上であり、樹勢も弱くなっているため危険木と判断し伐採を計画している。図の左上赤で囲った高木群は強剪定を計画している。図の左下ピンク色部分のサクラは文化財課と協力し試掘を行い、今年度中の植え替えを計画している。

委員長：ただいまの説明に関して、ご質問・ご意見等あれば伺う。

委員：植栽に関しては以前から聞いていた範囲のことで、これで結構ではないかと思うが、前からの課題で落ちている対象があるので、それらもまとめて一緒に処理対象としてもらいたい。

本丸への常盤木橋を渡る手前の高壇平場北側の植物群の中に、樹勢の衰えたスギの高木が2本あるが、このため周りの木が上へ伸びようとして樹形に悪い作用をしており、景観的にもよくないので早急に処理すべき。近くのイヌマキも上へ伸び過ぎて形が悪い。上伸びを止めて横に枝が張るように整えるべき。また、天守裏側の土塁の斜面に太いタブの木があり、年々大きくなっている。土塁に悪影響があるので早めに処理する候補に入れたい。

事務局：予算を考慮しながら対応していきたい。また相談させていただきたい。

委員長：それでは、この件に関しては委員から出た要望も踏まえて対応していただきたい。

その他

・次回会議について

事務局：次回は11月頃を予定している。日程は各委員の予定を照会し調整させていただくのでご承知いただきたい。